

1 数値目標（令和８～１２年度推進）

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、 自主的に読書をする子供を増やします。

指標	区分	令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度実績	推進状況 （令和７年度実績）	目標値 （令和１２年度）	推進状況評価
１か月に１冊以上本を読む 子どもの割合 ※1	小学校５年生	９１．１％	８７．７％	８６．８％	８５．６％	８７．８％	「１か月に１冊以上本を読む子どもの割合」は、令和６年度と比較し減少した。 また、広島県児童生徒学習意識等調査によると、１か月に１冊も本を読まなかった理由として、「読書より他にやりたいことがあったから」が４割以上を占めているほか、「本を読むのが嫌いだから」が３割程度を占めており、より一層、小・中学校と図書館が連携して、読書への関心を高める働き掛けに取り組んでいく。
	中学校２年生	８９．０％	８５．７％	８２．４％	８１．３％	８４．８％	
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、読書をする 子どもの割合 ※2	小学校６年生	７３．９％	７６．７％	— ※3	７０．７％	７４．７％	
	中学校３年生	６４．６％	６６．７％		６１．４％	６５．１％	

※1 「広島県児童生徒学習意識等調査」（広島県教育委員会実施）による数値。「読んでいない」以外を選択した児童生徒の割合。

※2 「全国学力・学習状況調査」（文部科学省実施）による数値。

※3 令和６年度は「全国学力・学習状況調査」において該当する設問がなかったため、数値なし。

2 具体的な取組

重点施策（令和６～８年度推進）

基本方針	重点施策	実績		推進状況 （令和７年度実績）	目標値 （令和８年度）	推進状況評価	担当課
		令和５年度	令和６年度				
家庭	幼稚園・保育園等における家庭での読み聞かせの促進	家庭での読み聞かせの促進を実施した幼稚園・保育園等の割合 １００％	家庭での読み聞かせの促進を実施した幼稚園・保育園等の割合 １００％	家庭での読み聞かせの促進を実施した幼稚園・保育園等の割合 １００％	家庭での読み聞かせの促進を実施する幼稚園・保育園等の割合 １００％	全ての幼稚園・保育園等で実施できており、引き続き取組を継続していく。	指導第一課 幼保企画課
		絵本の貸出を実施した 保育園等の割合 ８０％	絵本の貸出を実施した 幼稚園の割合 １００％ 保育園等の割合 ９２％	絵本の貸出を実施した 幼稚園の割合 １００％ 保育園等の割合 ９５％	絵本の貸出を実施する幼稚園・保育園等の割合 １００％	幼稚園・保育園等に対して、引き続き、絵本の貸出の実施を促す。	
		●園だより等で絵本の紹介や読み聞かせの推奨を行った。 ●家庭読書アドバイザーによる保護者向けの講演会を開催した。	●園だより等で絵本の紹介や読み聞かせの推奨を行った。 ●家庭読書アドバイザーによる親子向けの読み聞かせ等を開催した。	●園だより等で絵本の紹介や読み聞かせの推奨を行った。 ●地域のボランティアによる読み聞かせや家庭読書アドバイザーによる地域の親子向けの読み聞かせを開催した。			

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和7年度実績)	目標値 (令和8年度)	推進状況評価	担当課
		令和5年度	令和6年度				
地域	家庭読書アドバイザー ※4 の派遣による親子読書の奨励	派遣回数26回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数26回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数36回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数35回	新規申込の増加等により目標値を上回った。 引き続き取組を継続し、親子読書の奨励を図る。	こども図書館 (生涯学習課)
	ソーシャルメディアを活用した啓発・広報の強化	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 25回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 24回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 25回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 24回	積極的に情報発信を行い、目標値を達成した。	中央図書館 (生涯学習課)
	視覚障害者等が利用しやすいコーナー作りや書籍の充実【新】 ※りんごの棚： 様々な理由で本を読むことが難しい子どもたちを対象とした書籍を集めたコーナーのこと。 ※こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍： 大活字本、点字図書・点訳絵本等のこと。 (布絵本と点字図書・点訳絵本については、一般・こども向けの区別が困難であるため、全体の蔵書数を記載。)	●りんごの棚の設置館数：6館 (こども図書館、東区図書館、安佐南区図書館、安佐北区図書館、安芸区図書館、佐伯区図書館) ●こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍の蔵書数 ・カセットブック：384本 ・デイジー図書：43点 ・マルチメディアデイジー図書：181点 ・CDブック：129タイトル186点 ・大活字本：794点 ・布絵本：98点 ・点字図書・点訳絵本：877点	●りんごの棚の設置館数：9館 (こども図書館、中区図書館、東区図書館、南区図書館、西区図書館、安佐南区図書館、安佐北区図書館、安芸区図書館、佐伯区図書館) ●こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍の蔵書数 ・カセットブック：384本 ・デイジー図書：43点 ・マルチメディアデイジー図書：185点 ・CDブック：129タイトル186点 ・大活字本：901点 ・布絵本：101点 ・点字図書・点訳絵本：724点	●りんごの棚の設置館数：9館1室 (こども図書館、中区図書館、東区図書館、南区図書館、西区図書館、安佐南区図書館、安佐北区図書館、安芸区図書館、佐伯区図書館、佐伯区図書館湯来河野閲覧室) ●こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍の蔵書数 ・カセットブック：384本 ・デイジー図書：44点 ・マルチメディアデイジー図書：258点 ・CDブック：129タイトル186点 ・大活字本：1281点 ・布絵本：123点 ・点字図書・点訳絵本：730点	●りんごの棚の設置館数：10館1室 こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍の充実を図る。	中央図書館以外はりんごの棚の設置を実現した。 令和6年度と比較し、主にマルチメディアデイジー図書及び大活字本について所蔵量を増やした。引き続き、こどもの視覚障害者等が利用しやすい書籍について、充実を図っていく。	中央図書館 こども図書館 (生涯学習課)
学校等	読書活動の全体計画・年間指導計画の活用・見直し	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。	全ての学校で見直しができており、引き続き取組を継続していく。	指導第一課 指導第二課
	本や資料を基に情報を活用する力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 96.0% 中学校 89.1%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 94.3% 中学校 89.1%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 95.5% 中学校 97.0%	全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。	令和6年度と比較し、増加したが、一部、取組が推進できていない学校があるため、学校訪問や司書教諭及び学校図書館担当教諭研修会、校長会等で引き続き周知していく。	指導第一課 指導第二課

※4 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和7年度実績)	目標値 (令和8年度)	推進状況評価	担当課
		令和5年度	令和6年度				
連携	図書館と学校・学校図書館が連携した事業の推進 ※5	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 63.8% 中学校 45.3% 高等学校 44.4%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 70.7% 中学校 59.4% 高等学校 44.4%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 62.9% 中学校 64.1% 高等学校 11.1%	全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。	小学校については出前事業の減少、中学校では職場体験学習の増加等により連携率が変動した。引き続き、学校等に対して、連携事業の実施を促す。	中央図書館 こども図書館 (生涯学習課) 指導第一課 指導第二課

※5 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前事業（おはなし会等）等のこと。